

「 出会い」

人生は、予期しない様々な出会いを、私たちがどう受け止めるかに集約される。人間としての出会いは、心と心の出会いである私たちの感受性はその出会いの時に作動しなければ、その出会いはなかったことと同じである。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

ご入園、進級おめでとうございます。温かい日差しと心地よく吹く風に優しい春を感じる季節となりました。また、新型コロナウイルス感染症もマスク着用の見直しや5月から5類に移行するなど、少しずつ明るい兆しが見え始めてきました。新年度を迎え、子どもたちも一つ大きくなった喜びを感じ自信を持ちながら期待に胸を膨らませています。

新入園児と保護者の皆さまは、新しい環境に戸惑いや不安もあるかもしれませんが少しずつ園生活に慣れ、安心して過ごすことが出来るよう丁寧にかかわっていきたく思います。乳幼児期は人格形成の基礎を培う大切な時期です。人から愛されている必要とされていると感じることで自己肯定感を育み、思いやりや優しさの心を育てていきます。保育者や友だちと心を通わせながら日々の生活や遊びの中で、一人一人の違いを認め合い 気持ちに寄り添いながらかわり、子どもたちが安心した環境でのびのびと大きく成長されますように、この一年を大切に過ごして参りたいと思います。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

4月聖句

子供たちをわたしのところに來させなさい。

マルコによる福音書 10章14節

4月主題

「はじめまして」0歳

- ・神さまからお預かりしている大切な存在として生まれる。
- ・はじめての場所や人と出会う。
- ・春のひざしや風に心地よさを感じる。

「であう」1・2歳

- ・保育者の祈りや賛美を聞き、心地よさを感じる。
- ・であいやつながらりの中で安心して過ごす。
- ・春の自然にであって喜ぶ。

～子どもたちの姿～

色とりどりに咲く花々と共に、登園する子どもたちを迎える季節となりました。子どもたちはクラスが変わり、新しい友だちも増えてワクワクした気持ちで過ごしています。

幼いなりに生活の流れを理解して、身支度では「自分でやりたい!」という気持ちが高まっている様子があり、玩具等の貸し借りでも少しずつ「貸して」「どうぞ」というやりとりも見られるようになってきました。今年度もそれぞれの思いを異年齢活動にかしながら、互いを刺激し合あう中で相手を思いやる気持ちを育み、一人ひとりの「うれしい」「楽しい」「もっとやりたい」という気持ちを大切に受け止め「キラリ」と光る瞬間を子どもたちと笑顔いっぱいに分かち合いたいと思います。よろしくお願ひ致します。



【4月の讚美歌】

つくしのよう

【4月のうた】

さんぽ ちょうちょう
チューリップ

4月の予定表	月	火	水	木	金	土	日
							1
3	4	5	入園式	6	7	8	9
10	11 身体測定	12	13	14	15	16	17
17	18	19	20 避難訓練	21	22	23	24
24	25	26	27	28 クレイシュ通信	29	30	31

◎毎日の食事や睡眠について、連絡帳の項目ごとに記入をお願いします。
◎お子様の体調により、お迎えをお願いすることもあります。緊急連絡先が普段と異なる日には連絡帳または口頭でお知らせください。